

岐阜県警察と連携し「交通安全に関する広報開始式」を実施

～反射材・ヘルメット・シートベルトの着用を呼びかけ～

日本損害保険協会岐阜損保会（会長：原 誠行 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 岐阜支店長）では、岐阜県警察と連携し、12月14日（木）にJR岐阜駅前で、「交通安全に関する広報開始式」および啓発活動を実施しました。

岐阜県は、人口10万人当たりの交通事故死者数が全国ワースト2位（令和4年中）であり、死者75名のうち、45.3%が自動車乗車中、46.7%が歩行中・自転車乗用中の死者で、18時～20時の死亡事故が最も多い状況です。この状況を改善すべく、岐阜県警察と連携した啓発活動を実施することとし、夜間外出時の反射材・自転車ヘルメット・乗車時のシートベルトの着用を呼びかけるチラシおよび靴用反射シールを作成しました。

それらツールを用いた啓発活動のキックオフイベントとして開催した「交通安全に関する広報開始式」では、原損保会長と岐阜県警察本部山田交通企画課長からチラシの披露があり、原損保会長からは「岐阜県は交通事故防止の働きかけが必要な局面になっている。岐阜県警と連携した啓発活動等を行うことで県内の交通事故・死亡事故の減少に寄与したい。」、山田交通企画課長からは「例年、年末年始にかけて夜間の歩行者の事故が増加する。自分の身は自分で守るという意識を高める必要があり、今回のチラシはその目的に合った内容である。交通事故ゼロを目指して、チラシ等による啓発活動を続けたい。」との挨拶がありました。

式終了後は、岐阜県警察本部・岐阜中警察署のほか、岐阜市役所にも協力いただき、信長ゆめ広場で、チラシの配布や来場者の靴に反射シールを貼る啓発活動も実施しました。

当支部では、今後も岐阜県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



<信長ゆめ広場でのチラシ披露>



<原損保会長の挨拶>



<山田交通企画課長の挨拶>



<チラシ・反射材による啓発の様子>

夕暮れ時、夜間の外出時には反射材!

外出するときは、明るく目立つ色の服を選ぶようにし、反射材も付けましょう。

夕暮れ時や夜間は要注意!

夕暮れ時、夜間の交通量は急増し、交通事故の発生も多くなります。特に歩行者や自転車利用者の安全が脅かされています。

反射材は交通事故防止に有効です。

反射材は、車のライトで照らされると反射し、ドライバーの視界に入りやすくなります。特に夕暮れ時や夜間は、反射材の効果が顕著です。

26歳以上 38歳以上 57歳以上

<作成したチラシ>

万一のときのために、しっかりと活用しよう! 命を守るツール

全員ヘルメット

年齢問わず、自転車に乗る際はヘルメットの着用を!

ヘルメットは、交通事故発生時の脳損傷を軽減し、命を守る重要な役割を果たします。着用率は約91%ですが、着用していない人は約9%です。

ヘルメット着用率の向上により、交通事故による死者数は約2.8倍減少しました。

全席シートベルト

車に乗る際は全席シートベルト。幼児にはチャイルドシート!

交通事故発生時に3つの大きな危険があります。

1. 乗客が車内を飛び出す危険
2. 乗客が車内を移動する危険
3. 乗客が車内を移動する危険

シートベルトの着用率は約92%ですが、着用していない人は約8%です。

約13倍!

経 済 局 警 察 本 部 一 般 社 団 法 人 日 本 損 害 保 険 協 会 中 部 支 部

一般社団法人 日本損害保険協会

ブラックほたるくん35 JP

PS-B35

夜間は目立たず、湾曲して見える!

黒やカバン、シルバーカーや杖などに!

反射材は、車のライトで照らされると反射し、ドライバーの視界に入りやすくなります。特に夕暮れ時や夜間は、反射材の効果が顕著です。

約13倍!

<作成した反射シール>